

## ■ビニル壁紙値上げへ

### 安定供給を維持するには、30～35%値上げが必至とメーカー

ビニル壁紙原材料等の高騰が続いている。壁紙メーカー筋は「原材料の価格上昇の窮地を乗り切るのは限界を超えている」「安定供給を維持するには価格改定以外に方法はない」と危機意識を強めている。

2009年以降ナフサの大幅な上昇に伴い塩ビ樹脂のたび重なる値上げ（3回合計43円/kg）が実施されている。一方、可塑剤については途中わずかな値戻し（△11円）があったものの、計4回（91円/kg）の値上げが実施された。ナフサ価格については1kg当たり6万円を超えることが確実視されている中、一層緊迫した原材料状況になることが予想される。

壁紙メーカー数社への聞き取り調査においても原材料価格については対2009年比、塩ビペーストが約21%、可塑剤が約30%、チタンが約8%上昇しており、原材料メーカーからさらなる交渉を迫られているという。

また、燃料としての重油の高騰も著しく同70%以上の上昇を示しているメーカーもあり、重油の比率が大きいメーカーはさらに厳しい状況におかれている。

壁紙メーカー各社は生き残りをかけ経費削減・生産効率の向上等の自社努力を継続しているものの安定供給を維持し適正価格に戻すには製品価格にして30%～35%の早急な値上げが必至との意見が大勢を占めている。

国産ナフサ価格推移とPVC・可塑剤の値上げ状況

	2009年	2010年	2011年
国産ナフサ推移	1-3月	1-3月	1-3月
	27,000円	47,700円	52,000円
PVC値上げ状況	9月	5月	4月
	15円/kg	13円/kg	15円/kg
可塑剤値上げ状況	2月	2月+7月	2月
	24円/kg	37円/kg	30円/kg
		10月	
		△11円/kg	

日本ビニル工業会ビニル建築部会

注意)本書を無断で転載することを禁じます。